



2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年4月14日

東

上場会社名 note株式会社 上場取引所
 コード番号 5243 URL <https://note.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 加藤 貞顕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鹿島 幸裕 (TEL) 050(1751)2329
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第1四半期の業績(2022年12月1日~2023年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	654	—	△221	—	△249	—	△249	—
2022年11月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	△16.81	—
2022年11月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2022年11月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年11月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2023年11月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	3,171	1,693	53.4
2022年11月期	3,303	1,817	55.0

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 1,693百万円 2022年11月期 1,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年11月期	—	—	—	—	—
2023年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850 ～3,150	23.0 ～35.9	△630 ～△430	—	△650 ～△450	—	△650 ～△450	—	△43.15 ～△29.87

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. レンジ形式による開示としております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年11月期 1 Q	15,019,700株	2022年11月期	14,617,900株
2023年11月期 1 Q	—株	2022年11月期	—株
2023年11月期 1 Q	14,862,417株	2022年11月期 1 Q	—株

(注) 2022年11月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年11月期第1四半期の期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について

当社は、2024年4月14日（金）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものです。なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症が経済活動に与える影響は正常化に向かっている一方で、米国を中心としてインフレが急速に進行した結果、資本市場は依然不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社は、note事業（クリエイターがユーザーとコミュニケーションをとりながらデジタルコンテンツを創作・公開・販売できるプラットフォーム「note」の運営）、note pro事業（法人向け情報発信SaaS「note pro」の運営）、法人向けサービス事業（「note」上での企業協賛型コンテストの実施など）を主要な事業として展開してまいりました。

「note」は継続的な機能改善によって順調にユーザー数が増加しており、2023年2月末時点で会員登録者数は620万人を突破しております。また、当第1四半期の流通総額は3,265百万円（前年同期比127.0%）となり、プラットフォームに集まるユーザー・コンテンツの増加に伴い、引き続き高水準で推移しています。「note pro」については、noteのサービス成長に伴う企業からの認知度向上により順調に契約数を伸ばしており、2023年2月末時点で有料アカウント数は690件となりました。法人向けサービス事業については、「note」のユーザー数増加などにより、「noteコンテスト」案件が堅調に推移しております。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は654,150千円となりました。内訳は、note売上高531,409千円、note pro売上高97,316千円、法人向けサービス売上高22,406千円、その他売上高3,017千円です。一方、自社サービスを拡大するため人材採用やプロダクトの開発コストが先行した結果、営業損失は221,828千円、経常損失は249,728千円、四半期純損失は249,835千円となりました。

なお、当社はメディアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前事業年度末に比べ94,226千円減少し、3,101,466千円となりました。これは主に、「note」の流通総額の伸長などにより未収入金が5,741千円増加した一方で、自社サービスを拡大するため人材採用やプロダクトの開発コストが先行した結果、四半期純損失が発生したことなどにより現金及び預金が92,480千円減少したことなどによります。

固定資産は前事業年度末に比べ37,401千円減少し、69,985千円となりました。これは主に、事務所移転に伴う敷金の減少により、投資その他の資産が37,500千円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べ131,627千円減少し、3,171,452千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ7,475千円減少し、1,317,843千円となりました。これは主に、従業員の源泉所得税精算などにより、預り金が9,901千円減少したことなどによります。

固定負債は前事業年度末と同じく160,000千円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ7,475千円減少し、1,477,843千円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ124,152千円減少し、1,693,609千円となりました。これは、株式上場による新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ62,841千円増加した一方で、四半期純損失の計上により利益剰余金が249,835千円減少したことなどによります。

以上により当第1四半期会計期間末の自己資本比率は53.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、「note」の安定的かつ継続的な成長を軸として、更なる成長のため「note」及び「note pro」の競争力の源泉となる機能開発に投資を進める方針です。

2023年11月期の業績は、「note」の更なる利用ユーザー獲得に向けた機能開発や各種施策の実施を背景とし、前年と同水準の成長を想定した結果、売上高は2,850百万円（前事業年度比23.0%増）から3,150百万円（前事業年度比35.9%増）を見込んでおります。営業利益以下の損益については、今期からコストマネジメントの強化に着手する影響を反映し、営業損失は630百万円から430百万円、経常損失は650百万円から450百万円、当期純損失は650百万円から450百万円を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,188,649	2,096,168
売掛金	136,142	140,998
仕掛品	845	528
未収入金	818,555	824,296
その他	51,500	39,474
流動資産合計	3,195,693	3,101,466
固定資産		
有形固定資産	19,375	19,473
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	88,011	50,511
固定資産合計	107,386	69,985
資産合計	3,303,080	3,171,452
負債の部		
流動負債		
買掛金	611	262
未払法人税等	2,700	5,757
預り金	1,091,882	1,081,981
その他	230,124	229,842
流動負債合計	1,325,318	1,317,843
固定負債		
長期借入金	160,000	160,000
固定負債合計	160,000	160,000
負債合計	1,485,318	1,477,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	162,841
資本剰余金	2,562,103	2,624,944
利益剰余金	△844,341	△1,094,177
株主資本合計	1,817,761	1,693,609
純資産合計	1,817,761	1,693,609
負債純資産合計	3,303,080	3,171,452

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
売上高	654,150
売上原価	52,485
売上総利益	601,664
販売費及び一般管理費	823,492
営業損失(△)	△221,828
営業外収益	
受取利息	9
為替差益	2,180
違約金収入	1,523
その他	619
営業外収益合計	4,332
営業外費用	
支払利息	187
事務所移転費用	25,706
その他	6,338
営業外費用合計	32,233
経常損失(△)	△249,728
特別利益	
固定資産売却益	567
特別利益合計	567
税引前四半期純損失(△)	△249,160
法人税、住民税及び事業税	675
法人税等合計	675
四半期純損失(△)	△249,835

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月21日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2022年12月20日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式210,000株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ32,844千円増加しております。

また、2023年1月23日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式191,800株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ29,997千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が162,841千円、資本剰余金が2,624,944千円となっております。